

バルク貯槽安全弁交換時における事故防止について（注意喚起）

平成18年5月18日に岐阜県岐阜市においてバルク貯槽（2.9トン）安全弁の交換作業時に、作業者が当該安全弁元弁（ボール弁方式）を手動で閉止する必要があることを熟知していなかったことにより、安全弁元弁を閉止しないまま安全弁交換を実施したため、安全弁元弁から大量の液化石油ガスが漏えいする事故が発生しました。

当協会では、類似事故の再発防止のため、平成18年6月15日付け18高液第106号をもって、当協会会長名でLPガス関係団体に対し、再発防止策のご連絡をお願いしたところです。（別添参照）

しかしながら、去る平成18年12月29日に沖縄県北谷町においてバルク貯槽（2.9トン）安全弁の交換作業時に、岐阜県岐阜市に発生した事故と同様の液化石油ガスが漏えいする事故が再び発生しました。

度重なる事故の重大性に鑑み、類似事故の再発防止を図るため、下記の事項につきまして、再度ご連絡しますので、遵守下さいますようお願い申し上げます。

記

- (1) 液化石油ガス販売事業者は、バルク貯槽の安全弁の交換作業者に対し、安全弁元弁の構造に連結弁方式（安全弁を取外すと自動的に元弁が閉止するもの）とボール弁方式（手動で元弁を開閉するもの）の2種類が存在することを教育し、安全弁の交換を行うときは元弁構造に適した手順を指示すること。
- (2) 安全弁交換作業を協力会社に依頼するときは、液化石油ガス販売事業者から当該協力会社に対して安全弁の交換に必要な構造などの保安情報を提供し、当該協力会社がその従業員に対して教育・指導する体制が十分であることを確認すること。
- (3) 安全弁の交換作業者に対し、安全弁交換の手順（マニュアル）を遵守することを繰り返し徹底すること。

別 添

18 高液 第106号
平成18年6月15日

日本LPガス協会
会 長 児玉 宣夫 殿
社団法人日本エルピーガス連合会
会 長 高須 國廣 殿
社団法人全国エルピーガス卸売協会
会 長 牧野 明次 殿

高 圧 ガ ス 保 安 協 会
会 長 大 角 恒 生

岐阜県岐阜市で発生したバルク貯槽安全弁交換に係る事故について

平成18年5月18日に岐阜県岐阜市においてバルク貯槽安全弁の交換作業中に安全弁元弁から大量の液化石油ガスが漏えいした事故が発生しました。(別紙参照)

当該事故の原因は調査中ですが、安全弁元弁(ボール弁方式)に異常がなかったことから、当該安全弁元弁(ボール弁方式)を閉止せずに安全弁交換作業を実施したことにより発生したものと推定されます。

類似事故の再発防止のため、次の事項を貴会傘下の会員に対し、ご連絡方よろしく願い申し上げます。

- (1) 液化石油ガス販売事業者は、バルク貯槽の安全弁の交換作業者に対し、安全弁元弁の構造に連結弁方式(安全弁を取外すと自動的に元弁が閉止するもの)とボール弁方式(手動で元弁を開閉するもの)の2種類が存在することを教育し、安全弁の交換を行うときは元弁構造に適した手順を指示すること。
- (2) 安全弁交換作業を協力会社に依頼するときは、液化石油ガス販売事業者から当該協力会社に対して安全弁の交換に必要な構造などの保安情報を提供し、当該協力会社がその従業員に対して教育・指導する体制が十分であることを確認すること。
- (3) 安全弁の交換作業者に対し、安全弁交換の手順(マニュアル)を遵守することを繰り返し徹底すること。